

新潟大学 遺伝子倫理審査委員会 オプトアウト書式

①研究課題名	グリア細胞にタウ陽性球状封入体を呈するタウオパチー (Globular Glial Tauopathy) における, 異常タウ蛋白の蓄積分布パターンの解析
②対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	
<p>2002年1月1日以降 2018年12月31日までに, 本学および関連病院において, 試料提供者の親族から同意を得て新潟大学脳研究所病理学分野の教室員が行った病理解剖例で, 病理診断された球状グリア封入体 タウオパチーの患者さんの症例, 約4例*です. *4例の内訳(剖検年, 病状): ①2002年, パーキンソニズム及び運動症状 ②2007年, パーキンソニズム及び運動症状 ③2014年, 運動症状 ④2018年, 大脳皮質基底核症候群.</p>	
③概要	
<p>トロント大学との共同研究により, 球状グリア封入体 タウオパチー*(以下 GGT) の主な病理組織像である, 異常タウ蛋白の蓄積分布について, 組織学的に解析します. 加えて, 遺伝子検査の同意が得られている患者さん 約2例について, 病理解剖で採取された脳の凍結組織を用いて, 遺伝子の多型やタウ蛋白遺伝子の変異について解析を行います. これらの解析により, 本疾患の病態が詳しくわかることで, 将来的な治療標的が見いだされる可能性があります.</p> <p>(*新しい疾患概念のため, まだ正式な日本語の病名がついていない病気です. 英語名は Globular glial tauopathy: GGT です. 脳などの中枢神経系に異常タウ蛋白が蓄積する, タウオパチーという疾患群の一つに含まれます.)</p> <p>本研究は本学の遺伝子倫理委員会にて承認され, これに基づき, 過去に同意書で取得した試料及び付随する臨床情報がトロント大学へ提供されます.</p> <p>対象となるご遺族様におかれましては, 本研究にぜひともご協力いただきたくお願い申し上げます. なお, 承諾されないという場合は, 下記「お問い合わせ先」までご連絡ください.</p> <p>承諾されないというご判断は尊重され, ご遺族様が不利益を被ることはございません.</p>	
④申請番号	G2021-0008
⑤研究の目的・意義	<p>GGTは認知症や運動症状などの症状をおこし, 日常生活動作を障害する疾患です. 比較的新しい疾患概念のため, その病態は未解明な点も多く, 治療標的および治療方法もまだ確立されていません. 本研究では, 脳内で異常を来している範囲や細胞の種類を明らかにすることで, 将来の治療標的となり得る部位について検討します. また, 遺伝子解析により, この病気が遺伝性の病気かどうか検討します.</p>
⑥研究期間	倫理審査委員会承認日~5年間
⑦情報の利用目的及び利用方法(他の機関へ提供される場合はその	GGTの病態解明のため, 病理解剖にて採取・保存された脳組織を用いて, 病変の分布および病態に係る遺伝子の発現や変化を調べます. このため, 新潟大学病理学分野, 脳科学リソース研究部門で保存されている

方法を含む。)	対象の脳組織の一部を解析のためにトロント大学に提供します。
⑧利用または提供する情報の項目	GGT 症例の病理解剖にて採取した脳組織, 患者さんの情報 (年齢, 性別, 臨床診断名, 罹病期間)
⑨利用する者の範囲	新潟大学および以下の共同研究機関等に遺伝子解析情報や臨床情報で利用いたします。 新潟大学脳研究所病理学分野 研究責任者: 教授 柿田明美 トロント大学 臨床検査・病理学分野 研究責任者: 教授 Gabor Kovacs シドニー大学 病理学分野: Dr. Shelly Forrest
⑩試料・情報の管理について責任を有する者	新潟大学医歯学総合病院 医療情報部 部長 赤澤宏平 新潟大学脳研究所病理学分野 研究責任者: 教授 柿田明美 トロント大学 臨床検査・病理学分野 研究責任者: 教授 Gabor Kovacs
⑪お問い合わせ先	本研究に対する同意の拒否や研究に関するご質問等ございましたら下記にご連絡をお願いします。 所属: 新潟大学脳研究所病理学分野 氏名: 教授 柿田明美 Tel: 025-227-0633 E-mail: kakita@bri.niigata-u.ac.jp